

日本のふるさと体感の旅「歩くふるさと」

これまでの観光旅行とは異なる「歩く旅」を提案

新幹線飯山駅開業まであと5年。飯山商工会議所と飯山市観光協会などが中心となり、「日本のふるさと・飯山」らしい観光資源の開発と、まちなか観光の創出に向け、国の補助事業を活用しながら「うさぎ追いつ飯山・日本のふるさと体感の旅づくりプロジェクト」に取り組んできました。



来訪者との出会いが楽しい「歩く旅」

と3つの「体感プラン」のマップ付きのパンフレットづくり。ただ単に名所をめぐるとは、歩く速度でじっくりと四季折々のふるさとの風景と文化を体感するプロ

グラムが提案されています。ふるさと飯山を体感する16のプラン

完成したパンフレットは歩く旅が13か所、体感プランが3つの計16種類。それぞれが1時間ほどで歩くことのできる里歩き、街歩きコースで、プロジェクトのメンバーや地元の方々が実際に歩いて設定したものです。散策マップには普段車で通るだけでは気づかない見どころはもちろん、その地域の伝説や地元の人々のインタビューなどもあり、初

体感プラン・歩く旅のマップ一覧

- まるごと飯山体感プラン
- ①ドライブプラン
- ②サイクリングプラン
- ③千曲川プラン
- のんびり歩くミニツアー
- ④戸狩温泉エリア 五荷～北条
- ⑤戸狩温泉エリア わらび野～瀬木/みちくさの里
- ⑥信濃平エリア 顔戸
- ⑦瑞穂エリア 菜の花の丘
- ⑧瑞穂エリア 小菅/福島
- ⑨瑞穂エリア 北竜湖
- ⑩斑尾高原エリア ふるさとの森
- ⑪斑尾高原エリア 希望湖
- ⑫なべくら高原エリア 森の家周辺
- ⑬なべくら高原エリア 鍋倉山・茶屋池
- ⑭市街地エリア 寺の町いいやま
- ⑮道の駅エリア 花の駅・千曲川
- ⑯富倉エリア



各パンフレットは市内公共施設・観光施設で配布しているほか、飯山市観光協会ホームページからもダウンロードできます。
・市観光協会「歩こさいいやま」ホームページ
<http://www.iiyama-ouendan.net/arukosa-iiyama/>

地域みんなでお客さまを「おもてなし」しよう

信州デスティネーションキャンペーン

「信州デスティネーションキャンペーン」とは

信州デスティネーションキャンペーンとは、平成22年10月から3ヶ月間、全国のJR6社と長野県内の観光関係者や市町村等が一体となって展開される、大型観光キャンペーンです。

また受け入れる県内各地域では、キャンペーンにあわせてイベントの開催や、観光メニューの企画など、行政・観光関係者・JRが連携し、開催地への誘客に取り組みます。

今年が「プレキャンペーン」

本番を前に今年、プレキャンペーン（予行練習）が行われます。プレキャンペーンでは観光客だけでなく、全国の旅行会社が来年に向け県内各地域を訪問。ツアー先の選定などが行われます。



列車のお客さんに手を振るのは、誰でも手軽にできる『おもてなし』の1つ。



未知を歩こう。信州

お客さんに歓迎の気持ちを表そう！一人ひとりができる「おもてなし」

- お客さんへ元気にあいさつをしよう
街で観光客を見かけたら、元気にあいさつを交わしましょう。
- 列車やバスに手を振ろう
知らない土地で手を振って歓迎してもらうのは訪れる人にとってはうれしいもの。手を振って歓迎の心を表しましょう。
- 住んでいる街をきれいにしよう
皆さんが普段から行っている、花の植栽や家の周りの清掃なども、おもてなしにつながります。美しい街並みで訪れた人を迎えますよう。
- 地域に誇りを持とう
飯山を訪れたお客さんに飯山の良い所を聞かれても自信を持って答えられるよう、この機会に住んでいる地域を見つめなおし魅力を再発見してみましょう。

飯山市では今年10月の1ヶ月間、プレキャンペーンとして寺めぐりや和紙漉きなど飯山の伝統を生かしたツアーや、ノルディックウォーキングや自転車のツアーなど新たな体験型メニューも行う予定です。
市民の皆さんの協力を
これらの取り組みに加え、市民の皆さんにも一緒に取り組んでいただくことがキャンペーンの成功につながります。訪れた皆さんに「また飯山に来たい」と思っていただけのように、市民の皆さん一人ひとりの「おもてなし」をお願いします。
お問い合わせ
観光課 観光係
☎3111 内線232

道の駅「花の駅・千曲川」を拠点に『ノルディックウォーキング』に挑戦しませんか

今回のパンフレット「道の駅エリア」では、周辺の2kmから4kmのコースと、『ノルディックウォーキング』を提案。ノルディックウォーキングの簡単な歩き方も載っています。



通常のウォーキングと比べて、エネルギー消費量が20%上昇する他、筋肉強化、膝・腰への負荷の軽減など効果がたくさん！ポールは千曲川のカウンターで貸し出し（※）も行っていきます。道の駅を拠点に千曲川沿いの景色を眺めながらゆったりと歩いてみましょう。
※ノルディックウォーキングポールのレンタル料は1セット1日300円です。

「DC」の主役は地域のみなさま
JR飯山駅 駅長 月岡裕勝さん
今までの観光は、観光に携わる一部の人たちによって成り立っていました。しかし次第に旅そのものからえ方が多様化し、お客様の旅に求めるものも変わってきました。旅の感動は美しい風景やおいしい食事など人それぞれですが、最終的にはやはり、人との触れ合いではないでしょうか。
旅の中の思いがけない出来事が旅行者の心に残る思い出となり、リピーターにつながることもあります。仙台・宮城DCの際、地域の老人会の皆さまが「わしらは年取ってボランティアもできないから、列車やバスに手を振ろう」と決め、列車やバスが来ると農作業の手を休めみんな手を振ったそうです。列車のお客様が窓の外を見てみると、農家の人がみんな手を振っているではありませんか。列車の中も全員総立ち、この一件で「仙台は

企画したりすることで、新たな飯山の観光資源として活用していく予定。新幹線開通後を見据え交流人口の拡大に一層力を入れ取り組んでいきたい考えです。
また、パンフレットには市民の皆さんも知らなかった市内各地域の伝説や見どころがたくさん載っています。ぜひご覧いただき、知らなかった飯山を歩く速度でご覧になり、地域の魅力を再発見してみてくださいませ。
お問い合わせ
飯山市観光協会 ☎31133

「DC」の主役は地域のみなさま
JR飯山駅 駅長 月岡裕勝さん
今までの観光は、観光に携わる一部の人たちによって成り立っていました。しかし次第に旅そのものからえ方が多様化し、お客様の旅に求めるものも変わってきました。旅の感動は美しい風景やおいしい食事など人それぞれですが、最終的にはやはり、人との触れ合いではないでしょうか。
旅の中の思いがけない出来事が旅行者の心に残る思い出となり、リピーターにつながることもあります。仙台・宮城DCの際、地域の老人会の皆さまが「わしらは年取ってボランティアもできないから、列車やバスに手を振ろう」と決め、列車やバスが来ると農作業の手を休めみんな手を振ったそうです。列車のお客様が窓の外を見てみると、農家の人がみんな手を振っているではありませんか。列車の中も全員総立ち、この一件で「仙台は



すこい！」と大評判でした。DCが始まると、日本全国から北信州へお客様が集まります。中には下調べもしないまま訪れる方もあるかもしれません。そんな旅行者に、「どこか良い所はありませんか」と聞かれたとき、照れや謙遜もあり「見る所なんかありません」と答えます。これを聞いたお客様が北信州のファンになり、再び来てくださるでしょうか。なにも国宝級の場所を案内する必要はありません。自分で感じた良い所を自信を持って案内してください。
平成22年秋に本番を迎える信州DCは、長野県に生活する皆さんとJRグループが協力して作り上げる「地域おこし・地域文化発信観光キャンペーン」です。これを継続的に地域を元気にできるキャンペーンするため、より一層のご協力をお願いします。